

請求の範囲

[請求項1] 第1の音声解析端末(3)と第2の音声解析端末(5)とを含む音声解析システムであって、

第1の音声解析端末(3)は、
会話に含まれる単語を解析し、第1の会話情報を得る第1の用語解析部(7)と、
第1の用語解析部(7)が解析した第1の会話情報を記憶する第1の会話記憶部(9)と、
第1の会話記憶部(9)が記憶した第1の会話情報を解析する第1の解析部(11)と、
複数のプレゼンテーション資料を記憶するプレゼンテーション記憶部(13)と、
前記プレゼンテーション記憶部(13)に記憶されたそれぞれのプレゼンテーション資料に関連した関連語を記憶する関連語記憶部(15)と、
前記プレゼンテーション記憶部(13)が記憶したいずれかのプレゼンテーション資料を表示する表示部(17)と、
会話中用語と関連するトピックス語を記憶するトピックス語記憶部(19)と、
を含む端末であり、

第2の音声解析端末(5)は、
前記会話に含まれる単語を解析し、第2の会話情報を得る第2の用語解析部(21)と、
第2の用語解析部(21)が解析した第2の会話情報を記憶する第2の会話記憶部(23)と、
を含む端末であり、

第1の音声解析端末(3)は、

第2の音声解析端末(5)から第2の会話情報を受信する会話情報受信部(25)をさらに有し、

第1の会話記憶部(9)は、前記会話情報受信部(25)が受信した第2の会話情報も記憶し、

第1の解析部(11)は、

前記複数のプレゼンテーション資料のうちのあるプレゼンテーション資料である特定プレゼンテーション資料が選択されたことに関する情報を受け取る特定プレゼンテーション情報取得部(31)と、

第1の会話情報における会話区分を分析し、1又は複数の会話区分を得る第1の会話区分取得部(33)と、

前記関連語記憶部(15)から、特定プレゼンテーション資料に関連する関連語である特定関連語を読み出す特定関連語読出部(35)と、

第1の会話情報におけるある会話区分である第1の会話区分に含まれる第1の解析部(11)が解析した会話中用語である第1の会話中用語を抽出する第1の会話中用語抽出部(37)と、

前記トピックス語記憶部(19)から、第1の会話中用語と関連するトピックス語である第1のトピックス語を抽出する第1のトピックス語抽出部(39)と、

第2の会話情報における第1の会話区分に対応する会話区分である第2の会話区分に含まれる会話中用語である第2の会話中用語を抽出する第2の会話中用語抽出部(41)と、

前記トピックス語記憶部(19)から、第2の会話中用語と関連するトピックス語である第2のトピックス語を抽出する第2のトピックス語抽出部(43)と、

第1のトピックス語と前記特定関連語の関係及び第2のトピックス語と前記特定関連語との関係を用いて、第1の会話区分又は第2の会話区分を正しい会話区分として採用する会話区分採用部(45)と、を有する、音声解析システム。

[請求項2] 請求項1に記載の音声解析システムであって、前記会話区分採用部(45)は、第1のトピックス語と第2のトピックス語が異なる場合であって、第1のトピックス語が前記特定関連語であり、第2のトピックス語が前記特定関連語でないときは、第1の会話情報における第1の会話区分を正しい会話区分として採用し、第1のトピックス語が前記特定関連語でなく、第2のトピックス語が前記特定関連語であるときは、第2の会話情報における第2の会話区分を正しい会話区分として採用する、音声解析システム。

[請求項3] 請求項1に記載の音声解析システムであって、前記会話区分採用部(45)は、第1のトピックス語が前記特定関連語である数と、第2のトピックス語が前記特定関連語である数とを比較し、前者が多い場合は第1の会話区分を正しい会話区分として採用し、後者が多い場合は第2の会話区分を正しい会話区分として採用する、音声解析システム。

[請求項4] 請求項1に記載の音声解析システムであって、第1の音声解析端末(3)は、時刻時間を記憶するための時刻記憶部(51)をさらに有し、第1の会話情報は、前記会話に含まれる単語とともに、各単語と関連した時刻を含み、前記第1の会話区分取得部は、各単語の時刻情報を用いて、会話区分を分析するシステム。

[請求項5] 請求項1に記載の音声解析システムであって、

第1の音声解析端末(3)は、会話に含まれる音声の周波数を解析する周波数解析部(53)をさらに有し、

第1の会話情報は、前記会話に含まれる単語とともに、各単語と関連した音声の周波数を含み、

前記第1の会話区分取得部は、各単語の周波数を用いて、会話区分を分析するシステム。

[請求項6]

請求項1に記載の音声解析システムであって、

前記関連語記憶部(15)が記憶する関連語は、プレゼンター用関連語と、リスナー用関連語とを含み、

前記第1の会話区分取得部(33)は、前記第1の会話情報に含まれる前記プレゼンター用関連語と、前記リスナー用関連語とを用いて、前記会話区分を分析する、

システム。

[請求項7]

請求項1に記載の音声解析システムであって、

第1の音声解析端末(3)は、

前記複数のプレゼンテーション資料のそれぞれに関連した誤変換用語を記憶した誤変換用語記憶部(55)をさらに有し、

前記第1の解析部は、特定プレゼンテーション資料に関する誤変換用語が含まれる場合、

前記各会話区分のうち前記正しい会話区分として採用されなかった会話区分に含まれる用語のうち、前記正しい会話区分に含まれる前記誤変換用語に対応する用語を用いて、前記正しい会話区分に含まれる用語を修正する、システム。